

富山県市町村会館の大理石

富山県市町村会館一階の床材と壁材の一部には、2種類の大理石が使われています。一つは広い面積に使われているゴールドンクリーム（エジプト産）で、もう一つは床のアクセントとして使われているアンカラベージュ（トルコ産）です。



ゴールドンクリームの石材中に、小さいのでなかなか見つけにくいのですが、下の写真のような化石が含まれています。これは古生代の後期の二畳紀（ペルム紀）のものです。

